

平成25年度第1回宮城県救急医療協議会会議録（要旨）

日 時：平成25年9月3日（火） 午後5時から午後5時35分まで

場 所：県庁9階 第一会議室

出席委員：13名（久志本成樹委員，嘉数研二委員，登米祐也委員，伊藤聰彦委員，上之原広司委員，亀山元信委員，大庭正敏委員，今井克忠委員，茂泉善政委員，川上一岳委員，星野悦子委員，志賀寧委員，本吉真紀子委員）

欠席委員：6名（上原鳴夫委員，石橋悟委員，栗村涉委員，鈴木千代子委員，高橋宮人委員，渋谷美智子委員）

開会 【午後5時】

（進行より開会の宣告の後，傍聴の留意事項及び委員の交代に伴う委嘱状の交付について説明。）

嘉数会長あいさつ

- 今回新しい3名の委員が加わる。今後ともよろしく願います。
- 「ドクターヘリ基地病院の選定等」について今年2回の策定懇話会がもたれたが，その結果を御報告いただく。それについて委員に協議いただき，決定したいので，よろしく願います。

（進行より定足数充足の報告，配布資料の確認，規定により嘉数会長が進行する旨説明。）

議事 ドクターヘリ基地病院の選定等について

（懇話会の意見聴取の結果について懇話会座長の亀山委員から報告。）

- 結論として，「仙台でドクターヘリ事業を展開し，基地病院は仙台医療センターと東北大学病院とすること。格納庫，給油設備は仙台医療センターに整備する方針とすること。」となった。
- 結論に至る経緯は以下のとおり。
- 基地病院の条件として，設備面ではヘリポートがあること，人員面ではドクターヘリに搭乗する医師，看護師が確保され，この事業を行うことでその病院の救命救急センターの運営に支障が出ないことなどがある。また，格納庫については東北地方の冬季の気象条件などを考慮すると必要。
- これらの条件を1つの病院で満たすことは難しく，安定的な事業継続の観点からは複数病院が協力して事業を行うことが望ましい。（効率性などを考慮すると，基地病院の数は2つまでが適当。）
- 設備面で格納庫の整備が可能なのは仙台医療センターのみ。
- ドクターヘリが格納庫のない病院まで格納庫から通うか，その病院の医師，看護師が格納庫まで通うか，どちらかの対応が必要となる。後者は医師，看護師の待機時間が長くなり効率が悪く，前者の場合，基地病院間の距離が短ければ飛行時間を最小限

に抑えられることから、ヘリが通うスタイルが望ましい。

- これらから、仙台医療センターから距離が近くスタッフ面でも充実している東北大学病院も基地病院とし、仙台市立病院は協力病院として関わることを望ましい。
- 運航開始時期は、仙台医療センターがこれから移転・新築を行うため、今後調整が必要。

(事務局から資料について補足説明。)

(質疑応答)

- 久志本副会長から資料Ⅰ－４について表記の修正の意見あり。
→ 事務局から資料訂正する旨回答。
- その他、意見・質問がなかったことから、議事「ドクターヘリ基地病院の選定等について」は、資料の一部訂正の上、懇話会意見のとおりと決した。

報告 救急搬送実施基準の一部改正について

(事務局から説明)

- 平成21年度の消防法の一部改正により、都道府県は傷病者の搬送及び傷病者の受入の実施に関する基準を定めることが義務づけられており、本県でも平成23年6月に「救急搬送実施基準」を策定し運用中。
- この度、新たな救命救急センターの設置等に伴い実施基準を一部見直しがあることから報告するもの。
- 具体的な改正内容については資料Ⅱのとおり。

(質疑応答なし)

(議事終了)

岡部部長あいさつ

- 委員への謝意表明。
- 本日、ドクターヘリの基地病院の選定等について懇話会意見を了承いただいたが、今後、運航の具体的事項に係る懇話会検討結果についても協議会に報告させていただく。
- 各委員には、引き続き御支援・御協力をお願いする。

閉会 【午後5時35分】